

令和6年度「アニマルウェルフェアに関する飼養管理指針」の
取組状況に係る調査

豚の結果
(詳細版)

調査概要

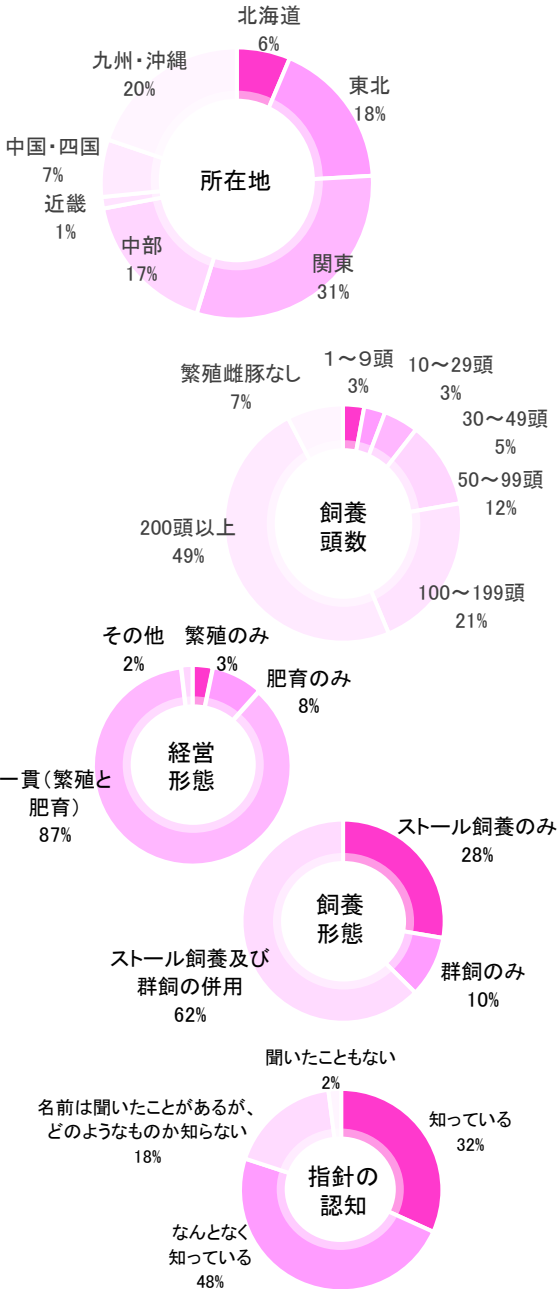
本調査は、農林水産省が令和5年7月に発出した「アニマルウェルフェアに関する飼養管理指針」の取組状況を把握し、今後の国内におけるアニマルウェルフェアの取組の推進のための基礎データとするため、**令和6年11月～令和7年2月**に全国の豚の生産者を対象に実施したものである。

本調査の実施にあたっては、都道府県畜産主務課及び畜産関係団体（公益社団法人畜産技術協会）の協力のもと**オンラインフォームまたは紙の調査票**を通じて回答を回収し、農林水産省において、各設問の有効回答の積み上げにより集計を実施した。

本調査への**総回答数は、491件**であり、回答者に種豚供給農場等の飼養者が含まれる。なお、調査結果の集計にあたり、無回答及び無効回答の排除等の処理を行ったため、設問間で回答数が一致しない場合がある。

○ 基本情報

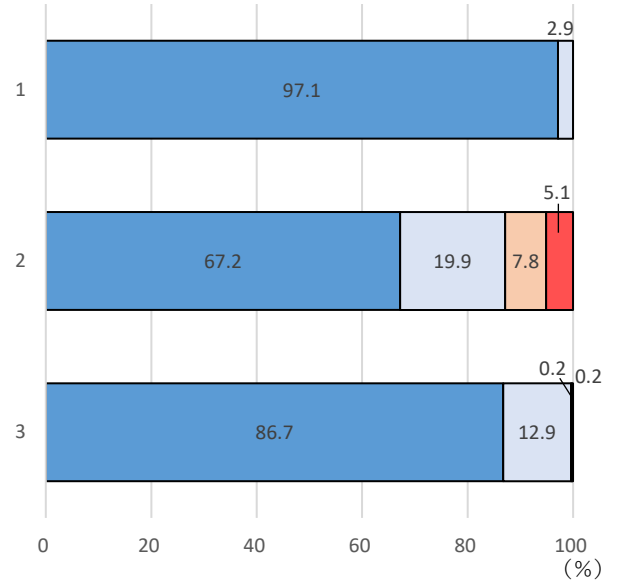
		回答数	割合
1 貴農場の所在地を記載してください。全体	北海道	28	6.4%
	東北地方	78	17.7%
	関東地方	135	30.7%
	中部地方	76	17.3%
	近畿地方	6	1.4%
	中国・四国地方	30	6.8%
	九州・沖縄地方	87	19.8%
2 貴農場における繁殖雌豚の飼養頭数について当てはまる選択肢を選択してください。	全体	485	100.0%
	1～9頭	14	2.9%
	10～29頭	14	2.9%
	30～49頭	23	4.7%
	50～99頭	57	11.8%
	100～199頭	104	21.4%
	200頭以上	236	48.7%
	繁殖雌豚なし	37	7.6%
3 貴農場の経営形態を選択してください。	全体	490	100.0%
	繁殖のみ	16	3.3%
	肥育のみ	41	8.4%
	一貫（繁殖と肥育）	424	86.5%
	その他	9	1.8%
4 貴農場の飼養形態を選択してください。	全体	481	100.0%
	ストール飼養のみ	133	27.7%
	群飼のみ	47	9.8%
	ストール飼養及び群飼の併用	301	62.6%
5 令和5年7月に農林水産省が発出した「アニマルウェルフェアに関する飼養管理指針」について、どのようなものか知っていますか。	全体	491	100.0%
	知っている	156	31.8%
	なんとなく知っている	237	48.3%
	名前は聞いたことがあるが、どのようなものか知らない	88	17.9%
	聞いたこともない	10	2.0%



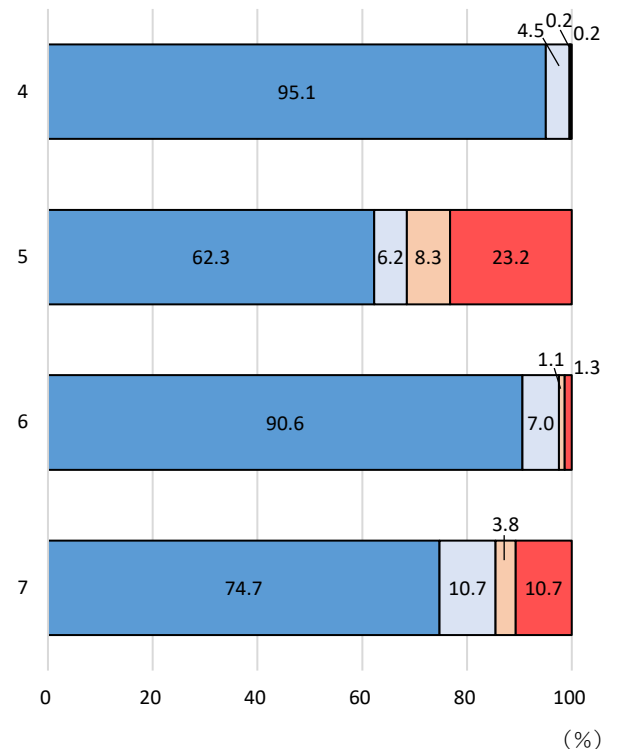
○ 飼養管理に関すること

1 管理方法について

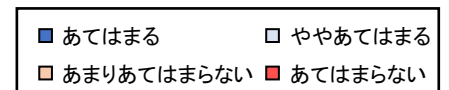
		回答数	割合
1 1日1回以上、豚の飼養環境や健康状態を確認している。	全体	491	100.0%
	あてはまる	477	97.1%
	ややあてはまる	14	2.9%
	あまりあてはまらない	0	0.0%
	あてはまらない	0	0.0%
2 飼養管理に関する記録(日誌や報告書等)をつけている。	全体	488	100.0%
	あてはまる	328	67.2%
	ややあてはまる	97	19.9%
	あまりあてはまらない	38	7.8%
	あてはまらない	25	5.1%
3 豚に不要なストレスを与える突発的な行動や、手荒な扱いを避けるなど、可能な限り豚を丁寧に扱っている。	全体	490	100.0%
	あてはまる	425	86.7%
	ややあてはまる	63	12.9%
	あまりあてはまらない	1	0.2%
	あてはまらない	1	0.2%



		回答数	割合
4 未経産豚は、十分な身体的成熟に達するまで繁殖に供さないようにしている。	全体	445	100.0%
	あてはまる	423	95.1%
	ややあてはまる	20	4.5%
	あまりあてはまらない	1	0.2%
	あてはまらない	1	0.2%
5 分娩予定日の少なくとも1日前には分娩区域に繁殖雌豚が利用できる巢材(またはそれに代わるもの)を提供している。	全体	435	100.0%
	あてはまる	271	62.3%
	ややあてはまる	27	6.2%
	あまりあてはまらない	36	8.3%
	あてはまらない	101	23.2%
6 新生子豚の管理において、通常、3週齢以上で離乳している。	全体	445	100.0%
	あてはまる	403	90.6%
	ややあてはまる	31	7.0%
	あまりあてはまらない	5	1.1%
	あてはまらない	6	1.3%
7 早期離乳は疾病管理を目的とし、子豚の生理学的特性を十分に理解し、必要な設備を備えた上で行っている。	全体	289	100.0%
	あてはまる	216	74.7%
	ややあてはまる	31	10.7%
	あまりあてはまらない	11	3.8%
	あてはまらない	31	10.7%



※経営形態として「肥育のみ」を実施している者は、4～7は非該当



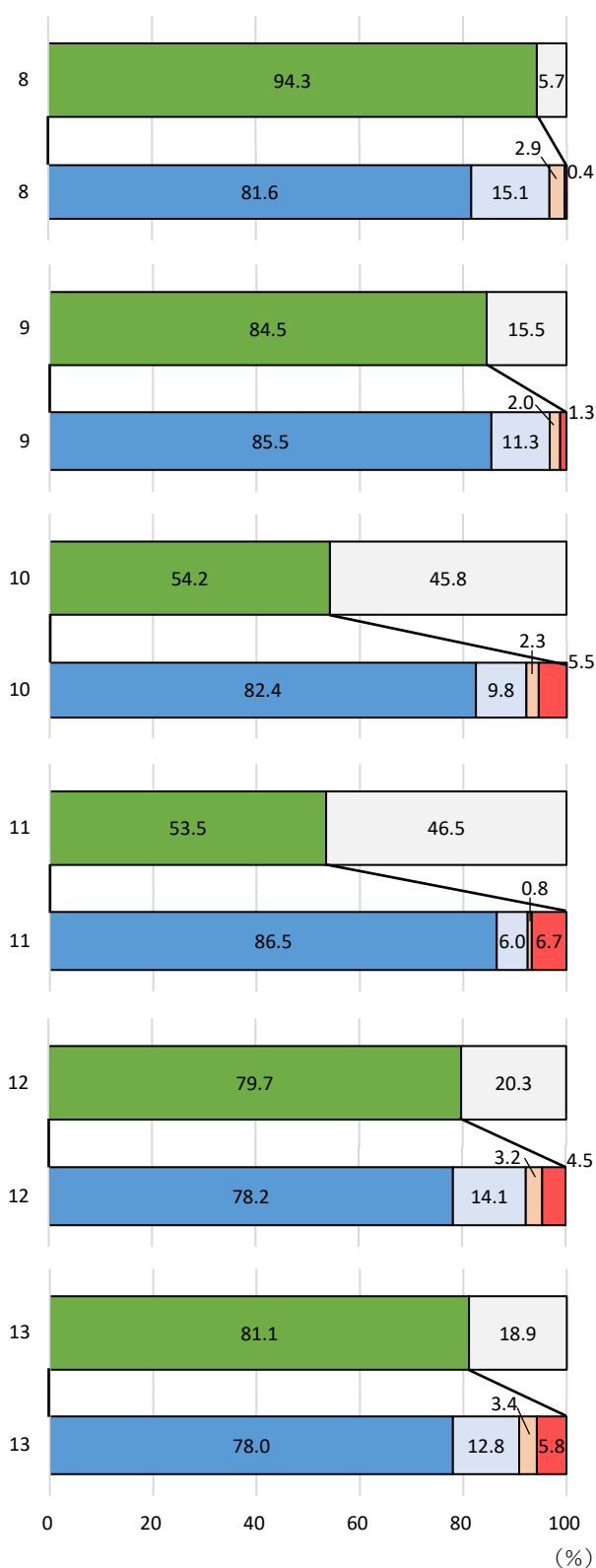
○ 飼養管理に関すること

1 管理方法について（続き）

		回答数	割合
8 去勢を行う場合、訓練を受けた者が、豚の痛み、苦痛を可能な限り少なくする方法で、できるだけ早期に行っている。	全体	472	100.0%
	あてはまる	363	76.9% (81.6%)
	ややあてはまる	67	14.2% (15.1%)
	あまりあてはまらない	13	2.8% (2.9%)
	あてはまらない	2	0.4% (0.4%)
	非該当	27	5.7%
9 断尾を行う場合、訓練を受けた者が、豚の痛み、苦痛を可能な限り少なくする方法で、できるだけ早期に行っている。	全体	472	100.0%
	あてはまる	341	72.2% (85.5%)
	ややあてはまる	45	9.5% (11.3%)
	あまりあてはまらない	8	1.7% (2.0%)
	あてはまらない	5	1.1% (1.3%)
	非該当	73	15.5%
10 歯切りを行う場合、訓練を受けた者が、豚の痛み、苦痛を可能な限り少なくする方法で、できるだけ早期に行っている。	全体	472	100.0%
	あてはまる	211	44.7% (82.4%)
	ややあてはまる	25	5.3% (9.8%)
	あまりあてはまらない	6	1.3% (2.3%)
	あてはまらない	14	3.0% (5.5%)
	非該当	216	45.8%
11 歯切りを行う場合、歯の先端のみをやすりで研磨するか、ニッパで適切に切断している。	全体	471	100.0%
	あてはまる	218	46.3% (86.5%)
	ややあてはまる	15	3.2% (6.0%)
	あまりあてはまらない	2	0.4% (0.8%)
	あてはまらない	17	3.6% (6.7%)
	非該当	219	46.5%
12 耳刻、耳標等の個体識別は、訓練を受けた者が、豚の痛み、苦痛を可能な限り少なくする方法で、できるだけ早期に行っている。	全体	473	100.0%
	あてはまる	295	62.4% (78.2%)
	ややあてはまる	53	11.2% (14.1%)
	あまりあてはまらない	12	2.5% (3.2%)
	あてはまらない	17	3.6% (4.5%)
	非該当	96	20.3%
13 オールイン・オールアウトを行う場合、新しい群の導入前に洗浄、消毒及び乾燥を行っている。	全体	471	100.0%
	あてはまる	298	63.3% (78.0%)
	ややあてはまる	49	10.4% (12.8%)
	あまりあてはまらない	13	2.8% (3.4%)
	あてはまらない	22	4.7% (5.8%)
	非該当	89	18.9%

※1 実施していない場合、非該当

※2 ()内は非該当数を除いたときの割合

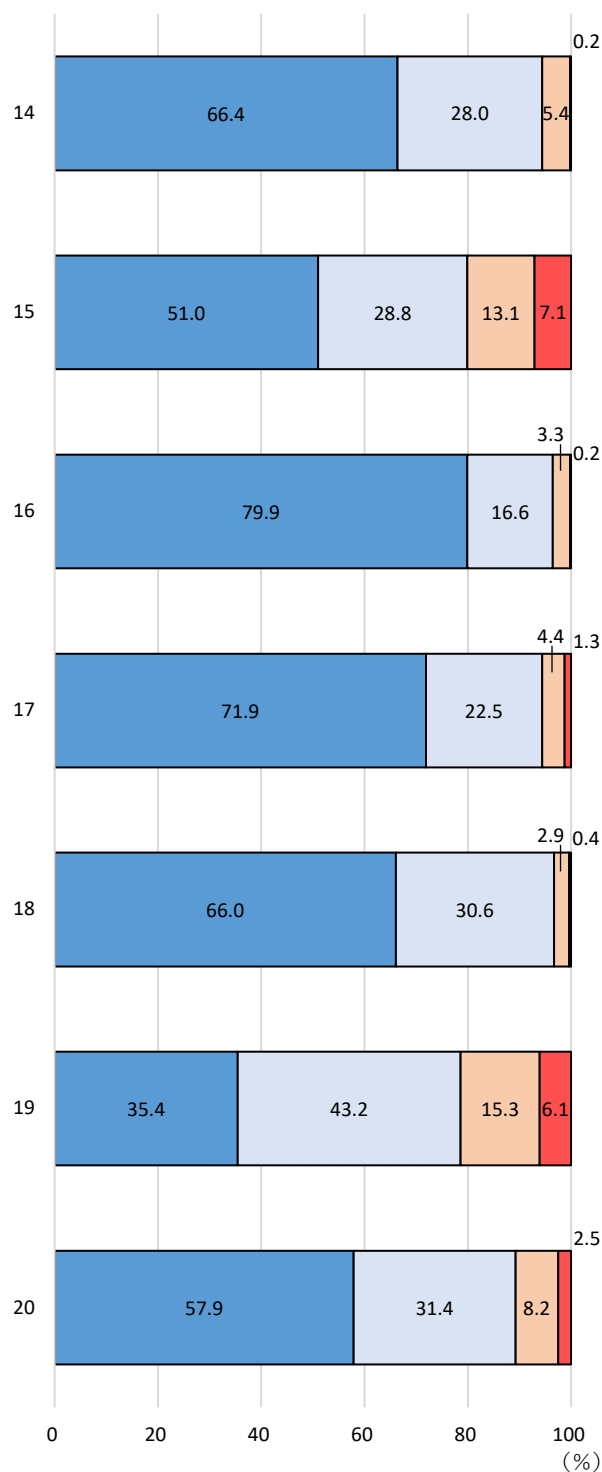


■ あてはまる ■ 該当
■ あまりあてはまらない ■ あてはまらない ■ 非該当

○ 飼養管理に関すること

1 管理方法について（続き）

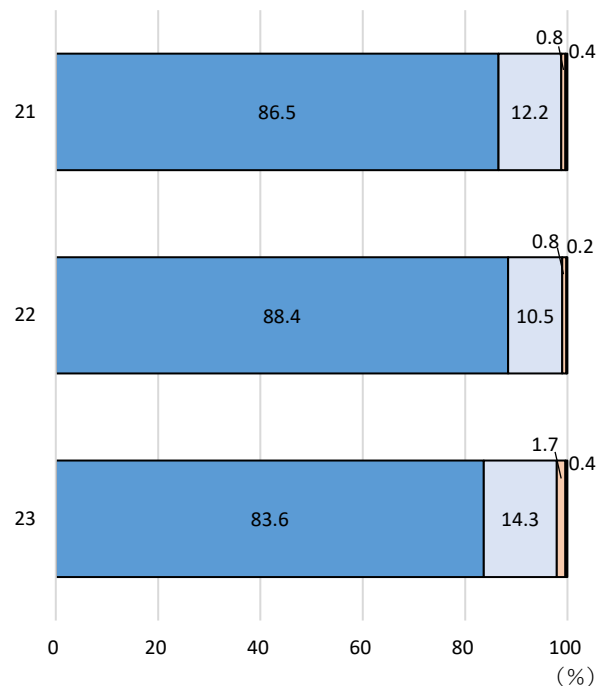
		回答数	割合
14 疾病に罹患し、又は損傷しているおそれのある豚が確認された場合、可能な限り丁寧に移動させ、隔離し、迅速に手当を行っている。	全体	482	100.0%
	あてはまる	320	66.4%
	ややあてはまる	135	28.0%
	あまりあてはまらない	26	5.4%
	あてはまらない	1	0.2%
15 疾病に罹患した豚又は損傷した豚について、治療等の対応を決めるため、獣医師による速やかな診断を受けている。	全体	482	100.0%
	あてはまる	246	51.0%
	ややあてはまる	139	28.8%
	あまりあてはまらない	63	13.1%
	あてはまらない	34	7.1%
16 豚舎の清掃、洗浄及び消毒を行い、施設、設備等を清潔に保っている。	全体	483	100.0%
	あてはまる	386	79.9%
	ややあてはまる	80	16.6%
	あまりあてはまらない	16	3.3%
	あてはまらない	1	0.2%
17 家畜伝染病予防法に基づく「飼養衛生管理基準」を遵守するとともに、「飼養衛生管理マニュアル」を作成し、日常から伝染性疾患の発生予防に必要な知識を習得している。	全体	480	100.0%
	あてはまる	345	71.9%
	ややあてはまる	108	22.5%
	あまりあてはまらない	21	4.4%
	あてはまらない	6	1.3%
18 病原体を伝播する有害動物や吸血昆虫、外部寄生虫の侵入及び発生を防止するとともに、発生時は速やかに駆除している。	全体	483	100.0%
	あてはまる	319	66.0%
	ややあてはまる	148	30.6%
	あまりあてはまらない	14	2.9%
	あてはまらない	2	0.4%
19 アニマルウェルフェアの指標や改善方法について知識を身に付けている。	全体	477	100.0%
	あてはまる	169	35.4%
	ややあてはまる	206	43.2%
	あまりあてはまらない	73	15.3%
	あてはまらない	29	6.1%
20 豚の健康及び良好な飼養環境を確保するため、十分な人数の飼養者等を確保している。	全体	475	100.0%
	あてはまる	275	57.9%
	ややあてはまる	149	31.4%
	あまりあてはまらない	39	8.2%
	あてはまらない	12	2.5%



■ あてはまる □ ややあてはまる
■ あまりあてはまらない ■ あてはまらない

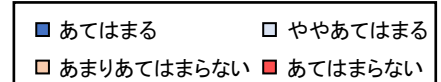
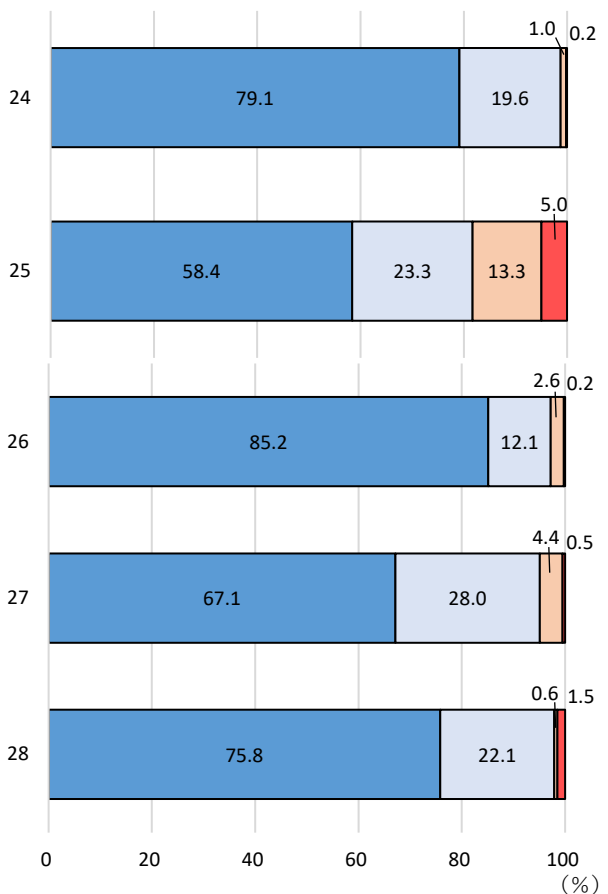
○ 飼養管理に関すること 2 栄養について

		回答数	割合
21 発育段階等に応じて、毎日、飼料及び水を質及び量ともに満たすよう給与し、適正なボディコンディションの範囲を逸脱しないように管理している。	全体	483	100.0%
	あてはまる	418	86.5%
	ややあてはまる	59	12.2%
	あまりあてはまらない	4	0.8%
	あてはまらない	2	0.4%
22 全ての豚が必要な量の飼料、水及び栄養を問題なく摂取できるよう、給餌及び給水の設備を設置している。	全体	484	100.0%
	あてはまる	428	88.4%
	ややあてはまる	51	10.5%
	あまりあてはまらない	4	0.8%
	あてはまらない	1	0.2%
23 給餌及び給水の設備は、定期的に点検及び清掃を行っている。	全体	483	100.0%
	あてはまる	404	83.6%
	ややあてはまる	69	14.3%
	あまりあてはまらない	8	1.7%
	あてはまらない	2	0.4%



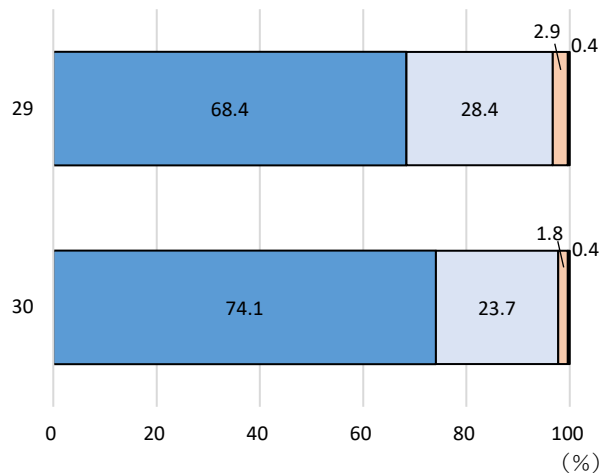
○ 飼養管理に関すること 3 豚舎について・4 飼養方式について

		回答数	割合
24 豚舎は、安全かつ効率的に、苦痛を与えないよう豚を管理し、豚が動けるようにしている。	全体	484	100.0%
	あてはまる	383	79.1%
	ややあてはまる	95	19.6%
	あまりあてはまらない	5	1.0%
	あてはまらない	1	0.2%
25 疾病に罹患した、損傷した又は異常行動を示す豚を治療や観察するための隔離豚房を設けている。	全体	481	100.0%
	あてはまる	281	58.4%
	ややあてはまる	112	23.3%
	あまりあてはまらない	64	13.3%
	あてはまらない	24	5.0%
26 ストール飼養を実施している場合、ストールは、壁や上の棒にぶつかることなく自然な姿勢で起立できるようにしている。	全体	431	100.0%
	あてはまる	367	85.2%
	ややあてはまる	52	12.1%
	あまりあてはまらない	11	2.6%
	あてはまらない	1	0.2%
27 ストール飼養を実施している場合、ストールは、隣の豚を邪魔せず横臥できる適切な大きさのものをを用いている。	全体	429	100.0%
	あてはまる	288	67.1%
	ややあてはまる	120	28.0%
	あまりあてはまらない	19	4.4%
	あてはまらない	2	0.5%
28 群飼している場合、全ての豚が同時に横臥し、立ち上がって自由に動き、飼料や水を摂取でき、休息場所と排せつ場所が分離され、攻撃的な豚を避けられる十分な空間を設けている。	全体	335	100.0%
	あてはまる	254	75.8%
	ややあてはまる	74	22.1%
	あまりあてはまらない	2	0.6%
	あてはまらない	5	1.5%



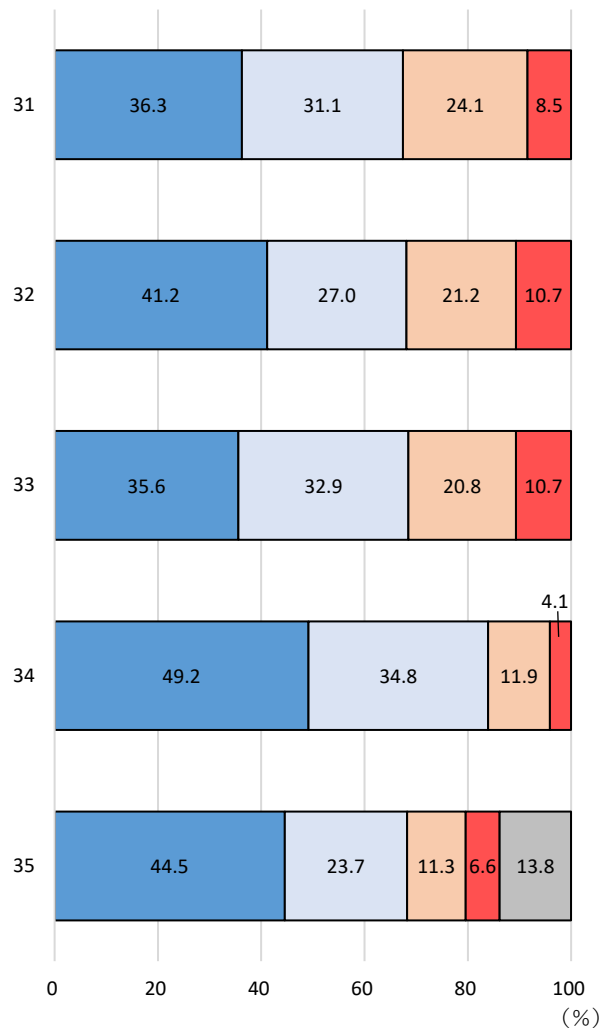
○ 飼養管理に関すること 5 豚舎の環境について

		回答数	割合
29 豚が快適性を維持できるように、暑熱対策や寒冷対策を行っている。	全体	490	100.0%
	あてはまる	335	68.4%
	ややあてはまる	139	28.4%
	あまりあてはまらない	14	2.9%
	あてはまらない	2	0.4%
30 豚舎内でのアンモニアやほこりの滞留がないよう、常に新鮮な空気を供給できるよう適切な換気を行っている。	全体	490	100.0%
	あてはまる	363	74.1%
	ややあてはまる	116	23.7%
	あまりあてはまらない	9	1.8%
	あてはまらない	2	0.4%



○ 飼養管理に関すること 6 アニマルウェルフェアの状態確認等について

		回答数	割合
31 「豚の飼養管理に関する技術的な指針」に関するチェックリスト等（その他類似するチェックシートを含む。）を用いるなど、アニマルウェルフェアの観点で定期的に飼養管理の現状を確認している。	全体	485	100.0%
	あてはまる	176	36.3%
	ややあてはまる	151	31.1%
	あまりあてはまらない	117	24.1%
	あてはまらない	41	8.5%
32 災害による影響を可能な限り小さく抑えるため、危機管理マニュアル（緊急連絡網・緊急時の対応をまとめたもの）等を整備している。	全体	486	100.0%
	あてはまる	200	41.2%
	ややあてはまる	131	27.0%
	あまりあてはまらない	103	21.2%
	あてはまらない	52	10.7%
33 危機管理マニュアル等を習熟するとともに、全ての農場関係者と共有している。	全体	486	100.0%
	あてはまる	173	35.6%
	ややあてはまる	160	32.9%
	あまりあてはまらない	101	20.8%
	あてはまらない	52	10.7%
34 自然災害等の影響により、豚や豚舎等に被害が生じるおそれがある場合、可能な限り、事前に対策をとっている。	全体	486	100.0%
	あてはまる	239	49.2%
	ややあてはまる	169	34.8%
	あまりあてはまらない	58	11.9%
	あてはまらない	20	4.1%
		回答数	割合
35 警報や発電機などの予備システムは、機器のメーカーの推奨する頻度を考慮し、定期的に点検している。	全体	485	100.0%
	あてはまる	216	44.5% (51.7%)
	ややあてはまる	115	23.7% (27.5%)
	あまりあてはまらない	55	11.3% (13.2%)
	あてはまらない	32	6.6% (7.7%)
	非該当（予備システムを設置していない）	67	13.8%

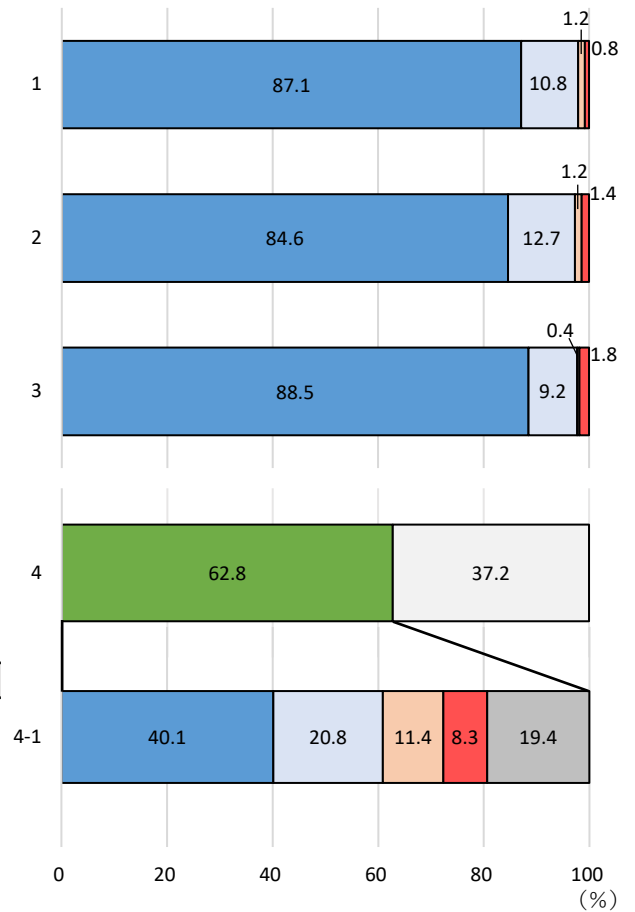


※（）内は非該当数を除いたときの割合

■ あてはまる □ ややあてはまる
■ あまりあてはまらない ■ あてはまらない ■ 非該当

○ 輸送に関すること

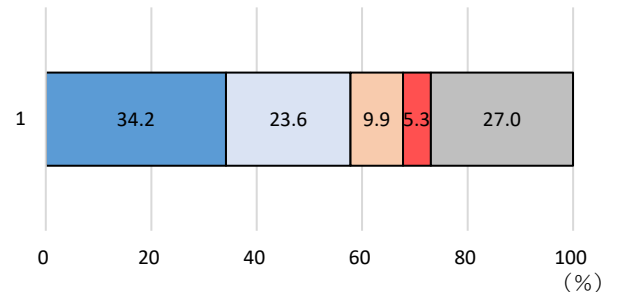
		回答数	割合
1 家畜の輸送に携わる全ての者が、家畜を丁寧に取扱い、責任を持って家畜を輸送している。	全体	489	100.0%
	あてはまる	426	87.1%
	ややあてはまる	53	10.8%
	あまりあてはまらない	6	1.2%
	あてはまらない	4	0.8%
2 輸送が家畜にとって過度な負担とならないよう、また、不要なストレスを与えないよう注意している。	全体	488	100.0%
	あてはまる	413	84.6%
	ややあてはまる	62	12.7%
	あまりあてはまらない	6	1.2%
	あてはまらない	7	1.4%
3 輸送にかかる総時間は最小限となるようにしている。	全体	487	100.0%
	あてはまる	431	88.5%
	ややあてはまる	45	9.2%
	あまりあてはまらない	2	0.4%
	あてはまらない	9	1.8%
4 家畜の輸送は、運送業者等外部に委託している。 (「はい」を選択した場合、以下4-1に回答)	全体	489	100.0%
	はい	307	62.8%
	いいえ	182	37.2%
		回答数	割合
4-1 家畜の輸送を運送業者等外部に委託する際に、委託条件の中にアニマルウェルフェアへの配慮や丁寧な取扱いに関する事項が盛り込まれている。	全体	289	100.0%
	あてはまる	116	40.1% (49.8%)
	ややあてはまる	60	20.8% (25.8%)
	あまりあてはまらない	33	11.4% (14.2%)
	あてはまらない	24	8.3% (10.3%)
	非該当 (確認できない)	56	19.4%



※()内は非該当数を除いたときの割合

○ 家畜の農場内における安楽死

		回答数	割合
1 獣医師の診断を踏まえ、判断権限がある者がその家畜を安楽死させることを決定した場合、「家畜の農場内における安楽死に関する技術的な指針」を参照し適切に行っている。	全体	474	100.0%
	あてはまる	162	34.2% (46.8%)
	ややあてはまる	112	23.6% (32.4%)
	あまりあてはまらない	47	9.9% (13.6%)
	あてはまらない	25	5.3% (7.2%)
	非該当 (行う機会がない)	128	27.0%



※()内は非該当数を除いたときの割合

